

平成23年度 事務事業評価シート

課名		土木課		道路整備		No	1		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり	2	広域交通体系の整備	2	広域交通網の整備				
事業名 県道改良事業負担金									
予算費目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
	細目	1	道路橋りょう総務費	細々目		道路橋りょう総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内にある県道の整備は十分ではなく、交通渋滞の解消を始めとして、歩行者の安全確保、運転環境の向上等の安全に対する問題がある。		利便性の向上、交通安全強化を図り安全で快適な市民生活を確保すると共に、道路ネットワーク化を推進し、産業の活性化の一翼を担う。		県道改良事業の推進のため、地元調整などの協力をおこなう。件事業費の応じた地元負担を支出する。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
県事業負担金			道路改良率(県道)		
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
18,250千円(当初予算)		1,663千円	90%	87.10%	
					96.8%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	県事業負担金	1,670,000	1,662,384	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()	1,400,000	1,400,000
					その他 ()		
				一般財源 ()	270,000	262,384	
合計		1,670,000	1,662,384	合計		1,670,000	1,662,384
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
市内にある県道の整備はまだ十分ではなく、朝夕の通勤ラッシュ時の交通渋滞や歩行者の安全等に問題があるが、用地補償交渉の難航や道路財源の縮小により整備が遅れている。		事業の推進に協力していただくよう、地権者と交渉を進める。県に対し、事業の推進を要望する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり	2	広域交通体系の整備	2	広域交通網の整備			
事業名	広域連絡道路整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	4	幹線道路対策費
	細目	1	幹線道路対策費	細々目	1	幹線道路対策費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
幹線道路整備を推進することにより、交通渋滞の解消、沿線地域の生活・経済環境の改善、地域の防災機能の向上を図る。その整備計画の早期実施を促すため、国、県対して事業促進の要望をする。		広域交通網の整備のため、国(地方整備局、本省、地元選出国會議員)、県に対し、広域連絡道路事業の予算確保、事業の早期実現を促す。		国、県に対して、広域連絡道路の事業促進を要望する。	
活動指標			成果指標		
要望回数			道路整備延長(小野田湾岸道路)		
目標値(回)		実績値(回)		成果指標の到達度(B/A)	
1		0		34	
目標値A(m)		実績値B(m)		%	
1,820		620			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	220,000	15,000	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		220,000	15,000	
合計		220,000	15,000	合計		220,000	15,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
現在、国は直接的な陳情活動を控えるよう指導しているため、積極的な要望は難しい。		陳情活動が可能となった場合は、積極的な要望活動を実施する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		計画開発係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり	2	広域交通体系の整備	3	都市計画道路網の整備			
事業名	都市計画道路見直し事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	1	都市計画総務費
	細目	1	都市計画総務費	細々目	1	都市計画総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
都市計画道路は、近年の人口減少や経済活動の低迷などの社会経済情勢からその必要性に変化が生じており、公共投資の抑制傾向が続く中で整備も長期化し、建築制限が長期にわたりかけ続けられていることから、多くの問題が指摘されている。このため、県より「都市計画道路の見直し基本方針」が示され、早急に対応する必要がある。		県から示された、計画決定から30年以上経過したもの等、長期未着手道路の見直しの方針に基づき、各路線の必要性等を検討し、廃止を含めた道路計画の見直しを行うとともに、早期に事業化し、現在39%の街路の整備率を高める。		①交通量調査 ②路線毎のカルテ整理 ③都市計画道路の見直し路線の抽出 ④都市計画道路網見直し方針策定 ⑤都市計画決定の変更手続 ⑥整備優先順位の決定 ⑦事業化、街路整備	
活動指標			成果指標		
見直しが必要な都市計画道路の数			都市計画道路の改良率		
目標値(路線)		実績値(単位)		目標値A(%)	
45				50	
				39	
			78		
			%		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	1,000,000	997,500	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	県事業負担金	710,000	709,800		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		1,710,000	1,707,300	
合計		1,710,000	1,707,300	合計		1,710,000	1,707,300
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
都市計画施設等区域内に住宅を建てる場合「長期優良住宅認定制度」等、税制優遇が受けられないため、早期に見直しをしないと市民に不利益を与える可能性がある。		早期に見直しを進めることにより、本当に整備が必要な路線が絞られるため、不必要な制限をかけずに済む。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			